

くしろ家畜衛生 号外！

令和4年2月17日 北海道釧路家畜保健衛所

牛RSウイルス病が流行しています！

本病は牛RSウイルスの感染による急性伝染病で、発熱、肺炎等の呼吸器症状のほか、重症例では死亡することもあります。

季節に関係なく発生しますが、寒暖差が激しく免疫力の低下しやすい寒冷期に多く発生がみられます。

管内では1月下旬から牛RSウイルス病の発生事例が例年より数多く確認されています。



【症状】

- ・ 5～7日継続する発熱
- ・ 咳、鼻水、呼吸促迫などの呼吸器症状
- ・ 乳牛では乳量の著しい減少

【感染経路】

- ・ 咳や鼻汁など、ウイルスを含んだ飛沫により他の牛へ伝搬します。
- ・ ※伝播スピードが速く数日で牛舎内に蔓延します

対症療法が中心であり、ウイルスに対する有効な治療薬はありません。

農場内にウイルスを持ち込まないこと、農場内で病原体を広げないことに留意し、発生リスクの低減のために次のことに注意してください。

- ・ 農場、牛舎への出入り口に石灰帯や踏み込み消毒槽を設置しましょう
- ・ 牛舎内外の清掃と消毒を徹底しましょう
- ・ 寒冷ストレスに注意しながら適切な換気を行い、飼養環境を良好にしましょう
- ・ 発症牛はできるだけ隔離し、作業導線を見直して、農場内の蔓延防止に努めましょう
- ・ 導入した牛はしばらく隔離飼養し、様子をみましょう
- ・ ワクチン接種により予防や症状軽減が期待できます

(ワクチン接種については、かかりつけの獣医師にご相談ください)



一番の予防法は、日頃の衛生管理を徹底することです！